



2024-25年度 第2650地区スローガン

持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動

Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

会長	池木 啓仁
副会長	中井 謙之
幹事	丸野 正徳
会報・資料委員長	杉村 喜之

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第13回(通算3012回)2024年(令和6年)10月29日号

本日の例会(10月29日)

米山奨学生卓話

米山奨学生 ゲエン・ミン・ヒウ 様

次回の例会(11月10日)

親睦家族会

於：新歌舞伎座及びシェラトン都ホテル大阪

10月22日の例会報告

会長の時間

ご逝去された酒本昌彦様は、長年にわたり当クラブの会員であり、会長も務められた方でございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、クラブ細則第3条1節(a)の規定により、本日例会終了後、次々年度会長候補者を選ぶ指名委員会を開催いたします。また、クラブ細則第3条第1節(b)の規定により、山田会長エレクトに対し、次年度の副会長、幹事、会計及び6名の理事候補者の指名を要請いたします。そして、11月26日の例会で、指名委員会の委員長及び山田会長エレクトから候補者の発表をお願いいたします。

さて、話は変わりますが、10月15日から始まりました総選挙は政権選択選挙とも言われております。石破政権にどのような審判が下されるか、大変興味がございます。各陣営におかれましては人事を尽くして天命を待つという心境でございましょう。その後の日本の将来がいさか気になるところでもあります。

幹事報告

◎訃報のお知らせ

元会員、酒本昌彦様(享年88歳)が10月18日にご逝去されました。酒本昌彦パスト会長は1981年ご入会、2010年第51代会長に就任、2019年に退会されるまでの38年間にわたり、積極的にロータリー活動に邁進していただきました。ここに哀悼の意を表し、心からお悔やみ申し上げます。訃報については、パスト会長様、高田地区の皆様にご通知させていただきました。10月20日にお通夜式、10月21日に告別式が大和高田市の専立寺にて行われました。

◎指名委員会のご案内

本日例会終了後 当会館4階会議室

ゲスト

辻 雅弘様

(大和高田市役所地域振興部文化振興課課長
卓話講師)

誕生日祝

村島靖基会員(10月26日) 植田直穂会員(10月28日)

結婚記念日祝

中井俊之会員(10月28日)

創業記念日祝

杉垣輝樹会員(10月23日)

委員会報告及びその他報告

○葛城・當麻地区情報集会 川中教正世話人
本日、10月22日(火)午後6時からヴェルデ辻甚で情報集会を開催いたします。

○親睦委員会 桑 雅宣委員長

11月10日(日)の家族会のご連絡をいたします。
第1部、新歌舞伎座の五木ひろし、坂本冬美特別公演は、11時15分開場、12時開演です。当日は受付を用意しておりますので、お声がけください。なお、12時開演までに各自昼食を済ませてからご入場ください。受付周辺では幕の内弁当を販売しておりますが、開演直前には売り切れになる場合がありますのでご注意ください。チケットの紛失やお忘れの際は、受付にてお申し出ください。

例会は、隣のシェラトン都ホテルの3階三笠の間で16時から受付、16時20分から開会となります。懇親会は17時から4階浪花の間西で開会となります。遅刻される場合は、私が射場副委員長までご連絡ください。

会葬のお札

酒本良司会員
先日、当クラブのメンバーであります酒本昌彦が逝去し、お通夜、葬儀に多数のご参列をいたしました。誠にありがとうございました。故人と長きにわたり活動を共にされた方々のご厚情に対し、故人も大変喜んでいました。この場をお借りしまして御札を申し上げます。誠にありがとうございました。

ニコニコ箱

・本日の卓話講師、辻 雅弘さんかホール館長をお迎えして。 池木啓仁会員

・さざんかホール辻館長、普段よりお世話になっております。本日、卓話楽しみにしております。 丸野正徳会員

・10月13日のEクラブ主催の平和コンサート、良かつたです。感動しました。 木下庄司会員

・酒本昌彦の葬儀の折、大勢のご参列ありがとうございました。 酒本良司会員

・當麻地区情報集会欠席のお詫び。脇本吉清会員

・御所実業高等学校ラグビー部、佐賀国体において優勝しました。応援ありがとうございました。 山下精久会員

・誕生日祝を頂いて。

中井謙之会員 村島靖基会員 植田直穂会員

4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

卓話

「ゆめ」と「アウトリーチ」と「子どもの未来」

さざんかホール館長 辻 雅弘 様



平素は大和高田市の文化行政に対し、ご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。私が働いている職場は、大和高田市文化会館、通称さざんかホールでございます。さざんかホールは皆様に愛されるホールとして、今年で丸28年となりました。

さざんかホールの事業は大きく分けて3つでございます。1つ目は、コンサートの企画・運営事業、2つ目が大ホールや小ホール、展示ホールを貸し出す貸し館事業、3つ目が大和高田の歴史や文化の振興に関わる歴史文化振興事業です。

今日は、皆様に「ゆめ」と「アウトリーチ」と「子どもの未来」と題しまして、さざんかホールの取組の1つをご紹介させていただきます。

現在、さざんかホールでは、心のレストランプロジェクトという事業を展開しています。未来を担う子どもたちが本物の舞台芸術に触れることにより、心を豊かにする機会を創出することが目的です。具体的には、アウトリーチ事業、ワークショップ事業、コンサート無料招待事業、ミニコンサート招待事業、写生会事業など、様々な事業に取り組んでおります。

今や、コンサートも配信サービスを通して、自宅で楽しむことができます。さざんかホールではアナログ視点の重要さに着目し、実際にホールへ来て、本物の芸術を五感で感じてもらえるような取組を展開しています。

そんな取組の中で、本日は皆様にアウトリーチ事業のご紹介をさせていただきます。

さざんかホールのアウトリーチ事業のコンセプトといたしましては、まず1つ目として、子どもたちの未来形成の一幕を作りたいということがあります。子どもを中心に、一番近くにいる大人として、親、祖父母、また教師などもいますが、それ以外の大人との関わりの中で、夢に向かって進むイメージを持ってもらいたいと思っております。アーティストさんには、その道を極めようと思ったきっかけとなるエピソードをお話しいただいております。

2つ目は、子どもたちの学ぶ力、学び取る力を育てたいということです。子どもたちは、時には失敗や挫折をしながらも何とか乗り越えて成長しております。そんなときに、もう一度立ち上がって一步進む道であったり、その道を諦めて次に進む道などをイメージできるような、アーティスト流の乗り越えてきたエピソードなどをお話ししいただいております。

3つ目は、子どもたちの心の自分軸形成や感謝の心を育てたいということです。くじけそうになったときや、また諦めそうになったとき、何かが支えになって、また頑張れる瞬間がございます。アーティストさんの支えになった人のお話や、また支えになった歌や音楽などのエピソードなどをお願いしております。アーティスト自身の経験と子どもたち自身を重ねることによって、未来の自分をイメージできればなと考えております。

令和5年度より、世界で活躍する様々なアーティストとともに、市内小学校全8校を回って、小学4年生

を対象に本物の芸術に触れていただこうという試みを実施しております。令和5年度は、ピアニストの金子三勇士さんをお迎えいたしました。

まずはなぜ小学4年生が対象なのかをご説明いたします。「小4の壁」という言葉がございます。小学4年生の頃の子どもは、友達との関係性がより重要になってくる年齢と言われております。また、自分を客観的に捉えることができるようになって、同時に相手と自分を比較するようになってきます。そのために、親や友達との距離感も考えるようになってくる、そんな時期だと言われております。そこで、芸術家と子どもたちが対等な関係で交流できるアウトリーチ事業を行い、本物の芸術に触れていただいて、心を豊かにする機会が増えたらと考えております。

金子三勇士さんは、世界的なコンサートでも活躍されているピアニストです。子どもたちの前に登場するときも、コンサートで着る燕尾服を来て颯爽と登場し、一切手を抜かない本気モードの演奏を子どもたちに届けてくださいました。

また、演奏中にピアノの下に潜ったり、ピアノの中を見たり、真横に立って手元をのぞいたりと、いろんな体験をさせてくださいました。

金子さんは日本人とハンガリー人のハーフでいらっしゃいます。ハーフという言い方だと半分ということで悲しくなるからダブルという表現もあるんだよと子どもたちに教えてくださいました。そして、ハーフであるがゆえに日本でもいじめに遭ったこと、そして6歳のときにハンガリーに移り住むとともに酷いじめに遭ったことを教えてくださいました。

それでもピアニストになりたいという夢があったから乗り越えられたんだよとおっしゃっていました。9歳にして、ハンガリーのピアニストになれる大学に入学されました。そこでもいじめを乗り越え、大人と同じ課題をこなしてご卒業になりました。

こうした厳しい、息をのむような内容もありましたけれども、その優しい表現力に子どもたちは聞き入っていました。「夢を持っていてほしい、そして諦めずに持ち続けなければきっとそれはかなうよ」、金子さんはそう教えてくださいました。

アウトリーチ事業というものは成果がすぐには出ません。しかし、小学4年生の皆さんに託したその種は子どもたちが成長する過程できっと芽を出して、それぞれの花を咲かすだろうと信じています。

令和6年度は、カウンター・テナーの藤木大地さんと新進気鋭のギタリスト猪井亜美さんのセッションを全8校で行いました。ホールで行われるコンサートそのものを学校の音楽室等で再現いたしました。子どもたちの生活空間でアーティストと出会えるというアウトリーチ事業はとても意味があると思っています。

このような取組を通じて、学校現場とさざんかホールの関係性も今までよりも良い関係性がでてしております。これからも同じ行政として、横串の入った事業にしていけるように、さらなる連携を図ってまいりたいと考えております。

採算が取れないアウトリーチ事業ではありますが、子どもたちの心を豊かにする事業として、形として残らずとも、未来で採算が取れる事業になると信じております。また、ロータリークラブの皆様のご理解、ご協力もいただけましたら、もっとすばらしい事業になると思いますので、皆様のご活動の中でも一度ご検討いただけたと幸いです。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員 出席数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率	
10月22日	91	58	52(0)	6	2	33	21	0	94.94%
10月8日	91	58	52(0)	6	1	33	22	2	93.90%
10月1日	91	58	48(0)	10	1	33	21	2	88.89%

()内の数字はWEB出席者数内訳